

平成 21 年度事業計画

1. 事業計画の概要

本学では、先ず学生確保を最重要課題と位置づけ、平成 20 年度からスタートした中期マスタープランの原案に基づき、第一次キャンパス総合整備及び教育改革、学科増設、履修コースの一部刷新を実施してきました。

平成 21 年度事業計画としては、昨年 5 月に採択された中期マスタープランの中で予算上承認された第一期計画の事業が主なものです。中期マスタープランの今後の具体的な展開のあり方についての中間報告(3月30日に提案)を受け、新たな事業が採択された場合は、準備を早々に進め、補正予算の手続きを経て、年度途中でも実行・実施を進めていきたいと考えます。

2. 中期継続事業

平成 20 年度から掲げている中期継続事業を進めると共に、特にキャリア教育研究所を中心に高大連携、産学連携、鴨台会(職域部会)エンロールマネジメント、留学生支援マネジメント、キャリア教育開発等についての事業を立案・推進する研究所として位置付け、大学と一体になって運営していきます。

3. 学科・コース再編

アーバン福祉学科、臨床心理学科及び新コース(アーバン福祉学科:のびのび子どもプロダクトコース、まち環境福祉プロダクトコース、表現文化学科:カルチュラルスタディーコース、英語コミュニケーションコース、クリエイティブライティングコース、映像文化コース)を新設。特に本学にとって新分野でもあるこれらの教育の充実に取り組みます。

4. 教学

教学上の新たな取組みについて平成 21 年度予定されているものは、以下の概要です。

T S R (大正大学の社会的責任)の遂行にあたっての取組みの一つとして、3つのポリシー、D P (ディプロマポリシー)、C P (カリキュラムポリシー)、A C (アドミッションポリシー)を教育・研究活動に関する中期ビジョンとして策定します。

F D 活動を引き続き推進するために評価の高かった教員による授業の公開やシラバスの記載項目の改定、授業評価アンケートの活用方法についての改善を図ります。

学部新コースの適正な運営、大学院組織の改編及びカリキュラムの充実を図ります。

新学務系システム導入に伴いW e b履修登録を秋学期から実施します。それに伴い学生、教職員の積極的なポータルシステムの活用推進を図るために、学生、教職員に対するサポート体制の確立と情報セキュリティの強化(セキュリティポリシー策定他)を進めます。

本学の「教育力」測定のために、卒業生に対してインターネットを利用したアンケートを実施します。

「大学入門」を初年次教育の三要素（大学生活への適応・基礎的学習スキルの習得・人格形成）を含む標準的プログラムに内容を一部変更し、実施します。また、「大学入門3（キャリア教育）」を初年次教育の必修科目とします。教育職員免許法改正を受け、関連高校及び卒業生向けに免許更新講習を実施します。教育課程を継続的に見直し・改革するために調査・研究を進めます。仏教研修道場の内容見直し及び古都研修の単位認定をします。

5. 研究

学内研究助成金である学術研究助成金の応募件数拡大を目指し、併せて学外研究助成金の応募件数・採択件数拡大も目指します。公的資金の不正使用防止のためのガイドラインに基づく、本学としての制度策定を進めます。聴衆である教員や学生が強い関心を持ち、参加しやすい環境作りをし、活発な議論が行えるような場を作るため、前年度と同様にシンポジウム形式の学内学術研究発表会を開催します。総合佛教研究所による特別講座を開講します。カウンセリング研究所による公開事例検討会を開催します。

6. 学生支援

学生相談室を中心に学生に対する心理臨床的支援の質の向上を図ると共に、教育的支援との統合に基づく連携支援体制を推進します。東西大学の短期留学生に対する日本語・日本文化研修、ミュンヘン大学の短期留学生に対する日本文化研修を実施します。学費延納制度の見直し等により、学費納入困難者への支援体制の再構築を進めます。「大学入門2」による健康管理啓蒙活動を進めます。派遣医を招聘し、医師の判断の元に与薬等の保健活動を行います。

7. 社会連携・貢献

としまエコライフフェアへの参加等により、地元「豊島区」を中心とした環境問題に取り組みます。キャリア教育研究所と連携し、エクステンション事業の充実や産学連携事業、地域貢献事業に取り組みます。

8. 施設・環境整備

夜間主コース 250名の昼間定員化、新分野の教育・研究実施施設の確保、教員の研究施設の改善、学生厚生施設の充実を図るための新教育・研究棟（仮称）は平成22年3月竣工の予定です。平成23年夏の竣工を目指し、新クラブ練習棟（仮称）の建築工事を開始します。1号館（本部棟）の空調ダクトメンテナンス（クリーニング）を実施します。10号館（教室棟）のテラス席を増設し、合わせて快適なフリースペースとするために雨風よけ（ビニールカーテン）を設置します。

9. 学生募集・入試

本年度入試実績を上回る受験生確保を目指して、より充実した学生募集活動に取り組みます。

オープンキャンパスをはじめとした大学訪問者に対して、今まで以上のきめ細かいサービスを提供します。

入試学生スタッフのさらなるスキルアップのための研修を実施します。

一般入試を中心に入試制度改革を進めます。

指定校を含む志願者数上位校との連携強化を進めます。

地方入試実施会場の再検討及び、実施運営の効率化を図ります。

10. 広報活動・卒業生との連携事業

新規事業（新学科・コース設置）の取り組みを中心に、一貫した広報を展開します。

定期刊行物の電子化による公開方法を検討し、公開準備を進めます。

出版会による書籍の刊行、広報・宣伝（広告）を有効的にするために、事業法人（ティー・マップ）との連携を図ります。

同窓会組織の活性化、大学・同窓会組織との連携体制確保、各同窓会支部地域での知名度向上と入学志願者確保のために支部主催の講演会等を開催します。支部総会や卒業生有志団体が企画する同期会等に対する助成を引き続き行います。

同窓生の入会を促進しつつ、「職域部会」の活動の幅を広げていきます。特にキャリア教育研究所と連携し、エンロールマネジメントの関係を構築します。

11. 事務運営・財政

人事に関連する各システムの運用上の統合を進めます。併せて、法人系システムである人事情報システム及び財務システムでの各情報の統一化、個人情報の一元化も進めます。

個人の質の向上のための研修や職位、階層別の研修等、事務職員に対する研修制度の充実を図ります。また、業務改善・効率化、法令理解のために、日々の啓蒙活動と共に時間管理研修、管理職向けに労務法令理解のための研修会等も実施します。

危機管理規程の抜本的な改正及び危機管理マニュアルの策定を進めます。

新学務系システム（入試、学生、教務、就職、校友会）によるポータルサイトの導入に伴い学生、教職員に対するサポート体制の確立と情報セキュリティポリシーの策定を進めます。

新教育・研究棟や新クラブ練習棟の工事費の支払いのために大学整備引当金の取り崩しを行う一方、教職員の退職給与引当金の積み増しを優先的に行います。事業目的の実施計画を意識した予算編成を可能とするため、平成22年度予算申請に合わせ、目的別分類の見直しを進めます。

以上